

岸田てつはる

区政報告 特集号

No. 29



この9月の末日、台風24号が都心を襲い、JRなど、その機能をマヒさせてしまいました。夏の大雨被害、北海道胆振東部大地震と、改めて、自然災害の多さ、脅威を感じ、それに対応していかねければと、行政の責任を痛感し、安全・安心な暮らしを考察している処でございます。

被害に遭われた皆様には、心よりお見舞い申し上げます。

さて、大田区は、おおた未来プラン10年を策定し、「地域力」と「国際都市」をキーワードに子育て、保育・福祉・まちづくり、産業振興、地域力、環境など、あらゆる分野の施策を推進しています。大田区の活性化、未来を担う政策と、高い評価を得ています。

ここで、主要な事業紹介させていただきます。

「おおた未来プラン10年（後期）」

- 1・① 未来を拓き地域を担う子どもを、みんなで育むまちにします。
- 1・② 誰もが自分らしく、健康で生きがいをもつて暮らせるまちをつくりまします。
- 1・③ 高齢者が住み慣れた地域で、安心して暮らせるまちをつくりまします。
- 2・① 水と緑を大切にし、すべての人に安全で潤いのある暮らしを実現します。
- 2・② 首都空港『羽田』と臨海部が世界への扉を開く、国際交流拠点都市



「羽田空港跡地第1ゾーン整備事業（第一期事業）」イメージ

を創ります。

2・③ ものづくりから未来へ、独自の産業と都市文化を創造します。

3・① 地域力を活かし、人に優しいまちを区民主体で実現します。

3・②

私たち区民が、良好な環境と経済活動が両立する持続可能なまちをつくる担い手です。

3・③

区は、効率的で活力ある区政を実現し、地域との連携・協働を進めます。



（仮称）羽田一丁目複合施設の
外観パース イメージ図

（仮称）羽田四丁目複合施設の
外観パース イメージ図

区議会議長として

岸田てつはる



平成十五年に皆様のお力で議会に押し上げていただいたとき、生まれ育ったこの地域に恩返しをしたいとの想いを出発点とし、最初の議会での質問は、洗足池の浄化

問題に付いてでした。

地域の人たちの憩いの場として、又、東京のオアシスとして子どもたちに緑と水の文化を伝え、それが誇りとなりふるさと大田区への愛着を強くもって頂きたいとの思いと同時に、この池をシンボルとし、商店街活性化、「絆」の有る街づくりの為、地域の代表区議会議員として薪水の労を取る思いで、今日まで力を注いで来ました。

政治とは、全ての人を幸せに導くこと、その信念を持つことを議会人としての矜持とし、4期目を努めさせて頂いていますが、平成30年5月25日（金）第一回臨時議会にて第60代大田区議会議長を拝命致しました。

議長職は、議会での質問の機会はありませんが、区長と両輪となる議会の要を担う重要な役として、区議会全ての会派の意見を要約し区民に示さなければいけません。

しかし、籠に乗る人担ぐ人、その又草履を作る人と、様々な職業、境遇の方が存在し、その代表で有る会派の人たち全てを満足させることは大変な努力ですし、情報過多の作今、一去一来と一ヶ所に定まらず、又、急速に世が移り変わっていき、時には、区民感情と議会が齟齬を見、苦渋の決断迫られ、責任負うときも有るのが議長職でもあります。

厳しい役職と認識もしています

が、どのような問題にも区民の皆様が寄り添って議会運営し、それを、丁寧に区民の皆さんに説明していく議長で有りたいと思っております。

大田区議会議長として私は、東京都（市）議会議長会に参加しています。他区、市の議長さんたちと多く議論行い機械に恵まれた時でもあり、また、親しく触れ合うことで、他所の行政や他所の人たちの大田区への想い等を知り、学ぶことにもなります。

私、岸田てつはるの議会活動に幅を持たせる事ができたのも確かです。私は、この議長職を天命として感謝の気持ちで任期いっぱい遂行させて頂こうと思っております。この議長経験を活かし、大田区発展に寄与できれば、それが、議会に私を送って頂いた期待に副うことになり、地域の人たちへ恩返しのできる政治に繋がります。区民の安全で安心な暮らしに貢献できる事にもなると思っています。

今回、今年起こった地震から安全・安心の街づくりを考え、また、子ども虐待事件に対し「心の政治を！」区議会議員として問い、私なりに大田区でも起こりうることを考え、この紙面を通し、行政としての取り組み方を皆さんと一緒に考えてみたいと記してみました。ご意見いただければ幸甚に存じます。

地域の「絆」をさらに強め、子どもをいじめ虐待から守る！

「きょうよりあしたができるようになるからもうおねがいゆるしてゆるしてください」

この文は、今年の春、花の散るごとく、大人の理不尽な虐待で犠牲となつてしまったまだ5歳の船戸結愛（ゆあ）ちゃんの、何度読み返しても痛ましい心締め付けられる日記の一部です。

皆さんの記憶にも新しいと思います。

この日記は、殴る、事を正当化する為に、電気の無い暗い部屋で覚えさせたひらがな文字で書かせたこの親の言い訳文だと思っています。

悲しく可哀相にと思うのは、私だけではないでしょう。

この愛らしい結愛ちゃんの未来は、身勝手な大人の存在で、短い人生で閉ざされてしまいました。

児童相談所職員が面会を結愛ちゃんの母親に拒否された際、この親が子供に会わせたくない後ろめたさを感じる事ができる訪問で有れば、一人の尊い幼い命救えたのではと、子供は地域で育てるの声、この職員には届いてなかった様です。

他所の区の話では有りますが、区議会議員として、行政の責任を痛切してまいります。

私は、この相談員の行動と、今年の2月に発覚した神奈川県茅ヶ崎市の小学校で2年間、いじめで不登校になった児童に対し、「めんどくさいから見て見ぬふりしろ」と言う女性教師の言葉を重ね、どちらにも、その職務に居ながら、子供の心に寄り添う気持ち持ち合わせていなかったのかと憤り覚えています。

この様に続く、無抵抗な子どもたちを襲う不幸な出来事を思うと、相談窓口になれる地域の議員が身近に必要なだとの信念に立ち、私、岸田てつはるは、地域の様々な問題に真摯に耳を傾け、一つひとつ、丁寧に問題解決に奔走し、この様な悲惨な出来事を未然に防げる街にしていきたいと思っています。

この大田区で、生まれ育ち、区内の隅々まで歩いた経験を活かし、皆様の代表として、より、安全で安心な暮らしが出来る街づくりに励む事で、私を育ててくれた地域の皆様に恩返しになると思いで、この事件を見つめ、このよくな時に相談に乗れる身近な地域の代表でありたいと思っています。24時間365日、地域を見つめ、

若い世代も高齢者の方や障害の有る方、全ての人たちが快適に暮らせる街づくりの為に汗をかく、それが、私、区議会議員岸田てつはるの使命だと思っています。

安全・安心の道標、外国語も明記された住居表示版の必要性！

2020年東京オリンピックパラリンピックが開催され、多くの外国の方がわが国を訪れる事になります。現在でも、年間2000万人以上の外国の方が来日し、その数は、年々増え続け、五輪開催の年は4000万人を越すといわれています。

その多くの方が、大田区羽田から日本に第一歩を踏み出し、全国各地に足を運ぶこととなります。現在でもたくさんの方々が、この大田区でスマートフォン片手に洗足池など名所探索しているのを見かけると思います。

まさしく、

日本の表玄関の素を見る思いでございます。



そのような大田区に対し、わが国の表玄関でありながら、住居表示版が少ないのではありません。区によっては、駅前はもちろん、



内の要所、要所に住居表示版があり、公園がどこにあるか、また、図書館など公共建物他、駅前だけでなく、街をサイクリングしながらでも、住居表示版を見つけ目的地が分かるシステムになっていきます。

ある区では、その地で発生した人気のキャラクター像や歴史上ゆかりの地などが、その掲示板に示され、この地は、この文豪が育った場所だと発見することにもなり、その地の文化に触れることにもなると思われました。

そして、それが、外国の方でも分かるように、英語・中国・韓国語などで表示され、おもてなしに親切心が加わり、観光客に大変喜ばれているとも聞きました。

住居表示は、安全で安心の道導にもなり、是非必要だと、他の地域の議員さんから意見いただきました。我が国は、地震・台風と自然災害多発する国でもあります。

今年9月の震度7を記録した北海道胆振東部地震の際、道全体が停電し、充電も不可となりスマー

トフォンが使えず、多くの方が通信機能失い、災害の様子知ることも、親、兄弟や知人の安否の確認もできず、又、救助体制の不備にもなったとニュースで知りました。

自然災害に遭遇すると、文明を享受している我々の無力は押しつけて知るべしと、改めて教訓となりました。

日本での観光を楽しむ為に北海道に足を伸ばした外国の方は、言葉が通じず大変難儀したことだろうと心が痛む思いになり、もし、街に外国の方にも分かる住居表示有れば、避難所なども分かり、少しでも安全・安心のお手伝い出来たのではと思っています。

区では、訪日外国人のために9ヶ国語の電話通訳サービスを行い、大変好評でもありますが、電話も通じなくなった北海道の教訓を活かすためにも、停電関係なく知らせることが出来る住居表示版の必要性、それが、もう一つのおもてなしではと、もちろん、外国の方だけでなく、大田区を訪問された全ての人たちに対しても同じ気持ちでの親切なおもてなしではと考えています。

改めて、皆さんのご意見いただき、議会に進言してみたいと思っています。